

Q&A よくあるご質問



Q 「Higher Education For All」とは？

A 「Higher Education For All」は、「誰もが大学や短期大学などで学ぶ機会を持てる社会をつくらう」という考え方を表す言葉です。経済的な事情や家庭環境、地域の制約など、様々な理由で進学をあきらめていた人にも高等教育への“第一歩”を、もっと身近に、もっと柔軟に届けたい。そんな思いから、複数の短期大学が連携し、それぞれの強みを活かした「共同的教育プログラム」を構築しています。これにより、一人ひとりに合った多様な学び方や進路の選択肢が広がり、社会で必要とされる力を身につけられる仕組みを目指しています。



Q 他の大学の授業も履修できるの？

A CPPの仕組みを活用することで、学生は所属する大学のカリキュラムに加えて、他の短期大学が提供する「共有科目群」の授業を履修することができます。地域連携、ICT、多文化理解、キャリア形成など、専門分野の枠を超えた横断的な学びが可能になり、学びの選択肢がぐっと広がります。さらに、こうした学修の成果は体系的に整理され、進学や就職など卒業後の進路に直結する“チカラ”として身につけていきます。所属校での専門教育と、JC-Linkによる共創的な学びを組み合わせることで、自分だけの成長ストーリーを描くことができます。



Q 九州短期大学共創プラットフォーム (JC-Link/ジェイシーリンク) とは？

A ジェイシーリンク「JC-Link」は、九州西部地域(佐賀市・長崎市・佐世保市)にある3つの短期大学が連携し、専門性や強みを活かして、共同で教育プログラムを展開する新しいプラットフォームです。大学だけでなく、地域の企業・自治体・教育機関と手を取り合い、地域に必要とされる人材の育成、地元での定着、地域社会への貢献といった目的を共有し、多様なカリキュラムや学びの場を生み出します。各大学の教育資源(教員、施設・設備、地域との連携実績など)を活かし、地域のニーズに応じた柔軟な学び方を構築し、多様な背景をもつ学生にも「高等教育のファーストステージ」としての新しい学びのチャンスを提供します。

Q オンライン授業と対面授業のハイブリッドって？

A ハイブリッド授業とは、教室での対面授業と、インターネットを使ったオンライン授業を組み合わせた新しい学びのカたちです。その日のコンディションやスケジュールに応じて、「教室で直接学ぶ」、「オンラインで自宅から学ぶ」といった選択ができ、どんなときも学びを途切れさせることなく続けることができます。履修の仕方や授業の組み合わせは、JC-Linkのスタッフと相談しながら、自分に合った“オーダーメイド”の学びをつくっていくことができます。自分のペースで無理なく、安心して学べる仕組みです。



Q CPP (College Partnership Program) とは？

A CPP (College Partnership Program) は、JC-Linkが提供する複数の短期大学による教育連携プログラムです。参加している短大の専門性や教育資源を活かして「共有科目群」を設け、各校のカリキュラムに“新しい履修モデル”として組み込むことで、所属校の枠を超えた学びが可能となります(=インターカレッジ・カリキュラム/IC)。この共有科目群には、専門分野の学びに加え、地域社会の課題やグローバルな視点を取り入れた実践的な内容が含まれており、学生一人ひとりが将来に活かせる知識やスキルを深めることができます。



Q 進路支援ネットワークって、どんなことができるの？

A JC-Linkでは、所属校のサポートに加えて、次世代型の学修支援システム「JC-Gate」ジェイシーゲートを使った新しい学習環境を整えています。このシステムを活用しながら、JC-Linkスタッフが連携し、一人ひとりに合わせた履修相談や進路選びを個別にサポート。短期大学ならではの「きめ細やかな支援力」を生かし、学びの不安や将来の悩みに寄り添います。さらに、系列の四年制大学や、提携する国内外の大学への編入など、卒業後の進路も幅広く支援。所属校の枠にとらわれず、自分らしい未来を選べる環境が整っています。



連携校

西九州大学短期大学部



〒840-0806
佐賀県佐賀市神園3-18-15
TEL: 0952-31-3001
https://www.nisikyu-u.ac.jp/junior_college/



長崎短期大学
Nagasaki Junior College



〒858-0925
長崎県佐世保市椎木町600番
TEL: 0956-47-5566
<https://www.njc.ac.jp/>



長崎女子短期大学
Nagasaki Joshi Junior College



〒850-0823
長崎県長崎市弥生町19-1
TEL: 095-826-5344
<https://www.nagasaki-joshi.ac.jp/>



本事業の連携の詳細については、以下の連絡先までお気軽にお問い合わせください
九州短期大学共創プラットフォーム[西九州大学短期大学部/事務局]
TEL. 0952-31-3001 Mail. JC-Link@nisikyu-u.ac.jp



Higher Education For All

誰もが、高等教育を自分のものに。



3つの短大で広がる、あなたの未来。

西九州大学短期大学部

長崎短期大学
Nagasaki Junior College

長崎女子短期大学
Nagasaki Joshi Junior College

3つの短期大学が地域と共に描く未来

佐賀県・長崎県にある3つの短期大学が連携し、地域の企業や自治体などと協働して「九州短期大学共創プラットフォーム(JC-Link)」を形成。各校の特色や強みを共有し、社会のニーズに応じた多様な学びの場を創出していきます。「高等教育のファーストステージ」として、一人ひとりの目標や個性に寄り添いながら、幅広い進路をサポート。3つの短期大学の連携で生まれる「新しい学びのカタチ」を通じて、あなたに最適な教育を提供していきます。



CPPで実現する「新しい学びのカタチ」

共創で育む 学びの場



3短大が連携して新科目「共創リテラシー(仮称)」(1年次)と「未来共創ラボ(仮称)」(2年次)を開講。多様な学生が出会い、学び合う中で、地域や社会と関わる力を育みます。

共創で広がる 学びの輪



各校が開催する多彩なイベントや行事に参加し、他の短大の学生同士が交流を深めることで、コミュニケーション力や多様な価値観を理解する力が身につきます。

共創で支える 学びの歩み



在籍する短大の修学支援に加え、JC-Linkの次世代型学修管理システム「JC-Gate」による新しい学習環境を提供。複数校からのサポートで、学びの継続と成長を後押しします。

共創で証明する 学びの成果



3短大での学びの成果は「九州短期大学共創プラットフォームディプロマ・サブリメント」(学修成果の証明書)として形になります。複数校の認定により、アピール資料として活用できます。

このような力が身につきます!

社会とつながり、自ら課題に挑戦する力

多様な仲間と協力し、一緒に成長できる力

自分らしく、未来に向かって前向きに成長し続ける力

西九州大学短期大学部

2026年度開設! 自分に合った学びのスタイル「次世代型人材育成」

「アドバンスト食健康プログラム」[募集定員10名]

「保育ソーシャルビジネス・プログラム」[募集定員10名]

西九短の教室はキャンパスだけではなく、地域イベントとコラボした実践的な学外授業、自宅にしながらオンラインで受けられる授業まで幅広い場所で学ぶことのできるスタイルとなっています。特に2つのプログラムでは資格取得だけでなく、専門以外の幅広いスキルを身につけることができます。

地域生活支援学科食健康コース
アドバンスト食健康プログラム

共創リテラシーを組み合わせた未来社会型専門職プログラム

幼児保育学科
保育ソーシャルビジネス・プログラム

新しい子育て支援事業を推進する地域対応型人材育成プログラム

既存の科目群

食健康コースの科目
幼児保育学科の科目

3短大の共通科目を受講

JC-Link 共有科目群
・西九州大学短期大学部
・長崎短期大学
・長崎女子短期大学

卒業時にかなう多様な活躍の場

次世代型専門職業人

食健康や保育の学びに加えて

- ・観光等、ホスピタリティ業界系へのフィールド拡大
- ・データサイエンス、IT業界系へのフィールド拡大
- ・他専門分野連携を活かした新たなフィールドへの参画
- ・グローバルな地域貢献事業へ参画



長崎短期大学 Nagasaki Junior College

2026年4月開設! 国際コミュニケーションコース「Bridge Class」

「Bridge Class(ブリッジクラス)」[募集定員10名]

地域共生学科 国際コミュニケーションコース「Bridge Class」では、心身のコンディションに合わせて3通りの授業スタイルを選ぶことができます。無理なく学びながら、最終的には通常クラスでの授業参加を目指します。対面授業とオンライン授業を組み合わせたハイブリッド型授業を通じて、一人ひとりに寄り添った柔軟な教育を提供します。



自分のペースに合わせた「3通りの授業スタイル」

スタイル① 自宅から参加

コンディションが優れない場合などに自宅からオンラインで通常クラスの授業に参加、または課題に取り組みます。

スタイル② 別教室から参加

短大に通学できる場合は、短大内の別教室で通常クラスの授業に参加、または課題に取り組みます。

スタイル③ 通常クラスで参加

コンディションも問題なく、短大に通学できる場合は、通常クラスの授業に参加、または課題に取り組みます。

長崎女子短期大学

地域未来創生コース「まちづくりデザイナーユニット」

好きな自分を見つける。

未来志向の科目群によるまちづくりデザイナー育成モデル「まちのしあわせ」と「あなたのしあわせ」をデザインすることで、あなたのしあわせを見つけます。実際にまちづくりを実践してきた実務家教員があなたを待っています。



「香り」をプロデュース(アロマ商品の開発プロジェクト)



誰でも瞬間移動できるロボット「OriHime(オリヒメ)」

つながる、地域と。

授業のバリエーション(オンラインもリアルも)を充実させ、好きな場所で、地域活性化を目指すしながら単位取得を目指す。

つながる、短大と。

好きな授業が見つかる。
三つの短大が連携し、多彩な授業を展開。

つながる、友達と。

対面で授業参加が困難なときも、あなたの分身となる遠隔操作ロボット「OriHime」で教室外からの参加も可能。

出会い、体験し、成長する。 3つの短大が支える、あなたのストーリー

3つの短大が連携し、一人ひとりの成長を支える新しい学びが始まります。学校の枠を超えた出会いや地域とのつながり、多様な体験を通して、自分らしさや可能性を見つけていくプログラムです。

仲間や先生に支えられながら、自分のペースで学び、社会へ踏み出す力を育てます。



CPPで実現する「新しい学びのカタチ」

CPP カレッジパートナーシッププログラム

短大の枠を超え、学びを共有し、地域と未来をつくる共創型プログラム

学びの場

Step.1

安心の出会い

(例)「共創リテラシー」(1年次合同授業)

3つの短大の学生や先生、地域の人たちと対面やオンラインでつながって一緒に学ぶ合同授業です。身近なテーマについて意見交換したり、グループワークを行ったりします。



学びのポイント

- ・うまく話せなくても大丈夫。まずは色々な考えを知ることからスタート。
- ・授業の中で、あなたの「好き」や「得意」が自然と引き出される。

学びの輪

Step.2

一歩ずつの体験

(例)「異文化交流パーティー」

3つの短大の日本人学生や留学生、地域の人たちが集う「異文化交流パーティー」。学生が茶道のお点前を披露したり、世界各国の音楽やゲームを楽しみながら、自然と交流を深められるイベントです。他にも各校主催の行事やイベントに参加します。



学びのポイント

- ・興味のあるイベントから少しずつ参加できるため安心。
- ・他大学の学生や地域の人と楽しむうちに、地域とのつながりを体感できる。

学びの歩み

Step.3

自分のペースで成長

「JC-Gate(学修管理システム)」

普段の授業はもちろん、共創プログラムや地域活動など、あなたの頑張りがひとつの画面で見える化されるシステムです。日々の取り組みが記録として残ることで、「こんな力が身についた!」と成長を実感できます。



学びのポイント

- ・日々の積み重ねがJC-Gateに記録され、いつでも自分の歩みを確認できる。
- ・記録を見て自分の成長を実感。焦らず着実に自信を育てることができる環境。

学びの成果

Step.4

自信の未来

「JC-Linkディプロマ・サブリメント」

卒業時には、あなたの頑張りを3短大合同で証明する「学びの証明書(ディプロマ・サブリメント)」を発行。就職活動の心強い武器になります。3つの短大のネットワークをフル活用して、あなたの就職・進学を最後までしっかりサポートします。



学びのポイント

- ・成績表だけでは見えない、これまでの積み重ねを3短大が責任を持って証明。
- ・3短大の先生やスタッフが最後の進路実現まで並走してサポート。

アドバンスト食健康プログラム



地域企業と連携した商品開発を通して、食のビジネスを学びます。

保育ソーシャルビジネスプログラム



子どもの「やってみたい」を大切に、学生が遊びを通して楽しい居場所をつくります。

Sさん 地域生活支援学科・食健康コース
福岡県立山門高等学校 出身

Q: この大学を選んだ理由は？

A: もともと、栄養志望でしたが、食のビジネスにも興味がありました。また友達も受講すると知り、安心して選ぶことができました。

Q: 実際に入学してみてどうでしたか？

A: 必修科目以外は、自分で履修を組み立てられるため、好きな科目を選びやすく時間割が工夫できます。午後があく日を作れるなど、自由度の高さが魅力です。

ワタシの将来の目標

入学して約半年が過ぎ、まだ具体的には決まっていますが、食品関係以外の職種に就きたいと考えています。在学中に国家資格を1つ以上は取得できるよう挑戦したいです。

他学科の学生と話し合う機会があるので、いろんな人と話すことが好きな人は楽しめると思います。

Q: 成長したと感ずることはありますか？

A: 食品衛生学を学び、食中毒の種類や感染経路を知ったことで、普段何気なくしていた行動を見直し、衛生管理への意識が高まりました。詳しい例として、大量に作ったカレーは素早く冷やさないとウェルシュ菌が繁殖して下痢をする可能性があるということが学びになりました。

Nさん 幼児保育学科
佐賀県 敬徳高等学校 出身

Q: この大学を選んだ理由は？

A: 以前から「子どもの居場所づくり」に関心がありました。大学のパンフレットを見た時にプログラムが目標に合っていて、ここを選べば夢の実現につながると感じて入学を決めました。

Q: 実際に入学してみてどうでしたか？

A: 周囲に子どもがいなかったこともあり、入学するまでは地域と子どもの関わりについては実感がありま

せんでした。授業や実習を通して地域が子どもの成長を支えていることを知り、子どもと実際に関わる中で、保育者の言葉や関わり方の大切さを痛感しています。

Q: 成長したと感ずることはありますか？

A: 違う学科や国籍の学生との交流を通して、積極的に質問や意見交換ができるようになり、コミュニケーション力が成長したと感ずます。また、グループで話し合う活動では、率先して発言し、意見交換に参加することができています。

ワタシの将来の目標

保育士・幼稚園教諭として学びを深め、将来は子どもの居場所づくりや生きづらさを抱えている子どもの支援に携わりながら、自然や生き物の魅力を伝える仕事にも挑戦したいです。

長崎短期大学 Nagasaki Junior College



「英会話」の授業で米海軍佐世保基地ニミッツパークを訪れ、サマーブラストのイベントを楽しんでいる様子。

Hさん 地域共生学科 国際コミュニケーションコース Bridge Class
長崎県立佐世保中央高等学校(通信制) 出身

Q: この大学を選んだ理由は？

A: 全日制から通信制高校へ転校した経験があり、大学生活になじめるか不安でしたが、Bridge Classでは自分のペースに合わせて、別教室や自宅から授業に参加できるため、安心して学べる点が入学の決め手となりました。

Q: 実際に入学してみてどうでしたか？

A: 普段は通常クラスで授業を受けつつ、必要に応じて

別教室で受講しています。自分に合った学び方が選べるおかげで、無理なく通い続けられています。入学前に感じていた不安も少しずつなくなりました。

Q: 成長したと感ずることはありますか？

A: 「異文化理解」などの授業を通して、さまざまな人と話す機会が増えました。留学生や友人との交流で自分とは違う価値観に触れ、以前よりも人と話すことに自信が持てるようになりました。

ワタシの将来の目標

今は、銀行や教育関係の仕事に興味を持っています。これからはサービスマーケティング(地域活動などを通じた学び)にも挑戦しながら、自分に合った道路をじっくり見つけていきたいです。

学校法人 鶴鳴学園 長崎女子短期大学



地域のイベントにも積極的に参加しています。

Mさん 生活創造学科 地域未来創生コース まちづくりデザイナーユニット
長崎県立諫早商業高等学校 出身

Q: この大学を選んだ理由は？

A: 地元の大学で学び、地域に貢献できる力を身につけたいと考えていました。地域とのつながりを大切にしながら学べる環境に魅力を感じ、この大学を選びました。

Q: 実際に入学してみてどうでしたか？

A: 講義の内容が充実しており、世の中のしくみを知ることができます。よりよい人間関係を築くために

うすれば良いのかを学ぶことができ、課題について自分で考え解決法を探す機会が設けられている授業が印象的です。

Q: 成長したと感ずることはありますか？

A: 人との関わり方が理解でき、進んで誰かと協力することが楽しくなってきたと実感しています。

ワタシの将来の目標

将来の目標を具体的に描けるよう、さまざまな経験や学びを通して視野を広げ、努力を続けていきたいです。その一歩として、韓国語の資格取得を目指しています。